

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	2	学校名	静岡県立松崎高等学校	校長名	矢野 あおい
------	---	-----	------------	-----	--------

1 スクール・ミッション

西豆地区における唯一の高等学校として、連携型中高一貫教育を実践し、また併設する特別支援学校と共生・共育を推進する。少子化が進行する地域にある学校の使命を自覚するとともに、生徒一人ひとりに寄り添った多様な教育を通して自他を大切にし、社会や地域に積極的に参画し貢献する生徒の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
① 新しい価値を創造し、地域に主体的に貢献する生徒。 ② 共生共育を通して、自他を認め、大切にする生徒。 ③ 知識・技能を活用し、他者との対話的・協働的に未来を切り拓いていく生徒。	① 個に応じたきめ細かな学習指導ができる教育課程の編成。 ② 連携型中高一貫教育のもと、地域と連携した西豆学に対応した教育課程の編成。	① 何事にも粘り強く、主体的に取り組む生徒。 ② 郷土を愛し、地域の課題を学び続けることができる生徒。 ③ 他者を尊重し、素直な心と思いやりを持った生徒。 ④ 自ら学び、自分の「生き方・在り方」を追求できる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 確かな学力を身に付け、社会を生き抜く力を育成する。
- イ 道徳観を育成し、高い人権意識と社会人としての良識を培う。
- ウ キャリア教育を通じて、郷土に貢献し、社会の発展に寄与する人材を育成する。
- エ 4校連携委員会を通じて、将来的な学校間連携の在り方を方向づける。
- オ 地域と連携し、連携型中高一貫教育を発展的に推進する。
- カ 安心・安全に生活できる環境を整備する。
- キ 教職員の研修・研究活動を推進し、資質能力と指導力の向上を図る。
- ク 教職員自らが適切な勤務管理を行う。（ワーカライフバランスの確立）
- ケ 効率的で適正な事務を執行する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 確かな学力を身に付け、社会を生き抜く力を育成する。	シラバスの適切な運用を行い、ＩＣＴ機器を活用するなど生徒の興味を引きつける授業研究・改善を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に興味をもって取り組む生徒が80%以上 ・授業が分かる生徒が80%以上 ・年2回以上の授業参観 ・授業アンケートの実施 ・年間を通して各教科の中高交流 ・学習指導要領に則り、授業改善に取り組んだ教員が90%以上 	教務
	適切な課題を与えることによって、学習の習慣を定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業以外の学習時間が平均して1日1時間以上の生徒 特進 70%以上 総合 50%以上 	教務

様式第1号

		読書活動の推進と読書の習慣を醸成する。 遠隔授業による学習機会の保証をする。	・朝読書の時間に集中して読書をしている生徒80%以上 ・円滑に実施できるように配信教諭との連携を密に行う。	総務
イ	道徳観を育成し、高い人権意識と社会人としての良識を培う。	基本的生活習慣の確立を図る。	・年間出席率 99%以上 ・年間遅刻総数 120回以下 ・清掃に集中して取り組む生徒が 90%以上	生徒 教務 各学年
		共生・共育を推進し、特別支援教育を充実させる。	・伊豆松崎分校との交流活動において、両校生徒が協働する場面を増やす。 ・人権に関する情報を発信し、意識を高める。	生徒 教務
		様々な場面を通して、日頃から生徒とコミュニケーションをとる。	・信頼できる先生がいると答える生徒が 80%以上 ・自ら進んで挨拶できる生徒が90%以上 ・常に正しい服装の生徒が90%以上 ・学校が楽しいと感じる生徒が85%以上	生徒
		生徒会活動の充実を図る。	・双獅祭等の学校行事を教職員と連携しながら、生徒会主体で組織的に運営する。	生徒
		部活動や保健体育の授業を通して心身の鍛錬に励む。	・部活動を通して心身の成長を感じた（部活動を通して「生きる力」を身に付けたと思う）生徒が 80%以上 ・新体力テストで前年より記録を伸ばす生徒が 75%以上	生徒 保健体育科
		病気予防や健康増進に取り組み、情報提供を行う。	・歯科及び眼下の疾病治癒率が前年より上昇する。 ・朝食摂取率が 100% ・毎朝の健康観察を行う。	生徒
		教育相談体制を構築させ、教育相談を充実させる。	・生徒の心の問題に対して S C、学年、課、担任の間で情報を共有し、チームで支援する。 ・1分間カウンセリングを年2回実施する。	生徒
ウ	キャリア教育を通じて、郷土に貢献し、社会の発展に寄与する人材を育成する。	進路指導マニュアルに従い学年ごとに適した進路指導を行う。	・内定率 100% ・進路目標を確立(達成)できた生徒が 1年生 70%以上 2年生 80%以上 3年生 90%以上	進路 各学年
		就業に関わる体験的活動や計画的・体系的なキャリア教育を推進し、勤労観・職業観を育成する。	・進路研修、進路ガイダンス等において事前、事後の指導を徹底する。 ・勤労観・職業観が深まった生徒が 90%以上	進路 各学年
エ	4校連携委員会を通じて、将来的な学校間連携の在り方を方向づける。	部会ごとに4校連携委員会の活動を充実させ、学校間連携の可能性を探る。	・各校の具体的な課題を共有する。 ・連携することで解決できるものを検討する。 ・賀茂地区探究コンソーシアム構築に向けて、4校で連携した活動を行う。	管理職 各部会

様式第1号

オ	地域と連携し、連携型中高一貫教育を発展的に推進する。	中高間で連携し、6年間を見通した「西豆学」の見直しと検討を進める。	・中高での定期的な意見交換を行う。 ・組織的で系統だった新しい「西豆学」の運用を行う。	進路教務 1年部 2年部
		連携型中高一貫教育連絡協議会の事務局として中心的役割を担う。	・推進会議、運営委員会、各教科部会等を開催し、事業を円滑に実施する。 ・地域への発信を定期的に行う。	管理職 教務 中高一貫 担当
		計画的な広報活動を推進する。	・学校ホームページ・SNS等の更新を行事ごと適宜行う。 ・学校は積極的に情報発信を行っていると答える生徒・保護者が80%以上	総務
カ	安心・安全に生活できる環境を整備する。	命を守る視点から、安全教育を推進する。	・校内外、通学路等の点検を行う。 ・交通指導員の指導件数を年間10件以内にする。	生徒事務
		施設・設備を定期的に点検し、管理する。	・危険箇所の把握に努めるため、週1回以上の校内巡回を行う。	事務
		防災教育の推進を図り、地域に貢献する高校生を育成する。	・校内避難訓練を3回実施する。 ・1回以上、地域防災訓練へ参加した生徒が90%以上 ・緊急時連絡メールを、全学年で90%以上の保護者及び生徒が登録する。	総務
キ	教職員の研修・研究活動を推進し、資質能力と指導力を向上を図る。	授業力量を向上させるための校内研修を充実させる。	・年3回以上の全体研修会を実施する。 ・研修が業務改善の役に立ったと答える教員が70%以上	教務
		教職員人事評価制度を活用し、課題と達成目標を設定する。	・年2回の教職員面談において、自己の課題と達成目標を確認する。	管理職
ク	教職員自らが適切な勤務管理を行う。(ワークライフバランスの確立)	教職員が各自の業務記録を正確に行い、適切なワークライフバランスの意識を持つ。	・月間の時間外業務が80時間以上になった場合には、自己診断チェックリストを提出し、必要に応じて管理職と面談を行う。 ・年休を取得しやすい環境づくりを行う。	管理職
ケ	効率的で適正な事務を執行する。	表簿等の管理を厳正に行い、適正かつ正確な会計処理を行う。	・監査や検査等で指摘がないようにする。	事務
		生徒・来訪者等に対して親切、丁寧な応対を徹底する。	・窓口や電話での対応において、苦情がないようにする。	事務
		常に創意・工夫した事務改善を図る。	・事務室からの連絡や提出書類については、職員、生徒及び保護者に分かりやすいものとする。	事務